

我々は非常用自家発電機の 負荷試験をお勧めします。

※負荷試験とは停電作業が発生せず、確実に定格出力の30%以上を維持でき非常用発電機の負荷系統を一時的に切り離し、専用の負荷試験装置をつなげて負荷をかける試験です。

何故ならその目的は
1年に1度の総合点検ではなく
非常時に発電機を動かす
ことだから。

いざという時、動くかも？
ではなく動くように点検しませんか？

非常電源(自家発電設備)の点検

総合点検 **1年に1回、負荷運転等で性能を点検**

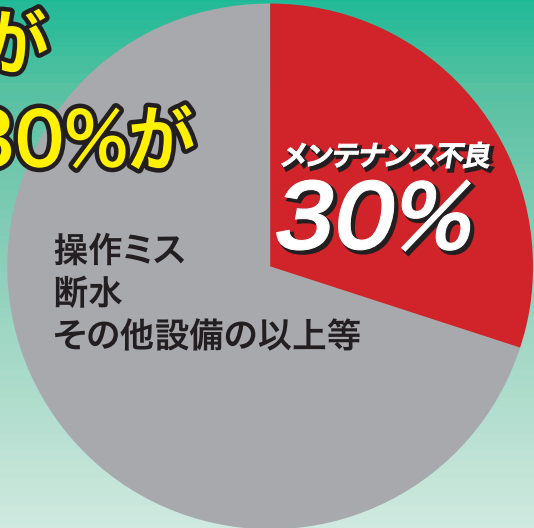
コンプライアンス意識の高まりで未実施、虚偽実施で
オーナー様・管理、設備会社様の責任追及リスクも
年々、高まっております。

負荷試験の詳しい
内容はこちらから



一般社団法人負荷試験協会

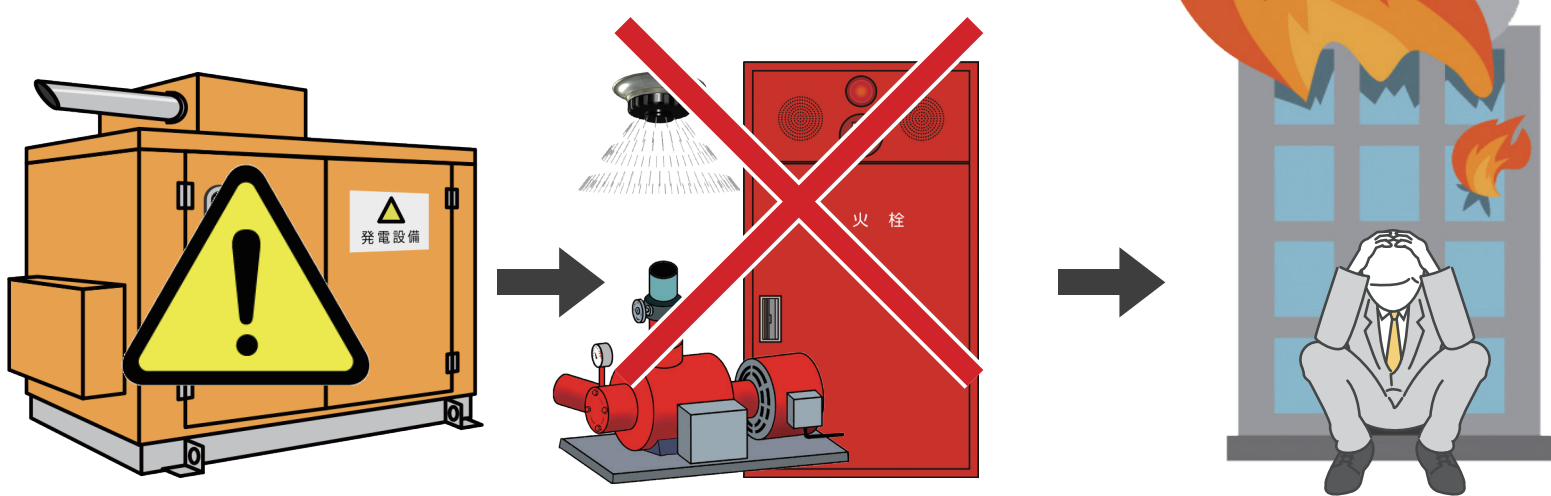
東日本大震災時に、非常用発電機が 不始動・異常停止となった原因の30%が メンテナンス不良でした。



災害時に非常用発電機のトラブルが発生すると

- 重要負荷設備が停止する
- 消火活動ができない
- 人命にかかわる事態を引き起こす
- 企業の信頼を失墜させる

停電や火災発生時に非常用発電機が正常稼働しないことにより、重要負荷設備(医療機器、生産設備等)の停止や、消火活動に必要な設備(スプリンクラー、消火栓ポンプ等)が作動せず、人命にかかわる事態を引き起こすことで、企業の信頼を失墜させるリスクがあります。



お問い合わせ先 **0120-587-868**

負荷試験のお問い合わせ先



050-5527-5053(業者様用)
E-mail : info@fukashiken-assoc.com
(本部)〒624 - 0102 京都府舞鶴市志高1957-4

発電機メンテナンスのお問い合わせ先



TEL:0773-77-5217
FAX:0773-77-5218
E-mail : info@deepriver.co.jp
(本社)〒624 - 0102 京都府舞鶴市志高1957-4